

カーネーションの多年切り栽培における適性品種の選定

1. 試験のねらい

カーネーション栽培は、種苗コストが大きく（720,000円/10a）また定植本数が多く（18,000本/10a）定植に多くの労力を要することから、数年間同一株を利用する多年切り栽培が各地で試みられている。そこで、多年切り栽培に適性のある品種を検討する。

2. 試験方法

栃木県内で栽培されている13品種について栽培3、4年次の適応性を検討した。

平成17年6月7日に栽植密度36株/m²で定植し、定植14日後に6節で摘心を行い、4本に整枝、その中の1本を8月中旬にハーフピンチを行った。最低夜温12 とし、換気温度は18 とした。2年次は平成18年6月5日に地表から10cm、3年次は平成19年6月13日に15cm、4年次は平成20年6月10日に20cmの高さに切戻しを行った。2、3、4年次は7月下旬に6本に整枝、8月下旬に2本をハーフピンチを行った。

養水分管理は点滴かん水施肥栽培で行った。施肥管理は定植時によりん（く溶性リン酸20%）で250g/m²（成分50g/m²）施用し、1年次は液肥で窒素50.5g/m²、加里75.8g/m²、2・3年次は窒素75.8g/m²、加里113.7g/m²を施用した。かん水管理はpF2.2を目標に行った。

3. 試験結果および考察

- (1) 多年切り栽培の3年次は、株生存率、出荷可能本数が優れていることからスタンダードタイプでは「エクセリア」が、スプレータイプでは「インテルメッツオ」、「デリカード」が適した（表 - 1）。
- (2) 多年切り栽培の4年次は、m²当り出荷可能本数が県経営診断指標（220本/m²（ベッド面積当り））を上回った品種はデリカードのみであった（図 - 1）。最も出荷可能本数の多いデリカードでも栽培終了時の生存率が70%と低下した（データ省略）。また、所得も栽培1年次よりも収穫本数が低下したこと、切戻し後の芽整理に要する雇用労費の増加等から栽培1年次よりも減少した（表 - 2、一部データ省略）。以上のことから、4年次の栽培は行わないほうがよいと考えられた。

4. 成果の要約

カーネーション多年切り栽培の3年次は、スタンダードタイプでは「エクセリア」が適し、スプレータイプでは「インテルメッツオ」、「デリカード」が適する。4年次の栽培は、「デリカード」のみが十分な出荷可能本数が確保できた。しかし、栽培1年次よりも所得が低下するため行わないほうがよい。

（担当者 園芸技術部 花き研究室 沼尾貴延）

表 - 1 カーネーション多年切り栽培の3年次における切り花品質、収量、株生存率及び萌芽数

区	切戻し42日後		切り花長 (cm)	切り花重 (g)	輪数	下垂度 ¹	生産本数 ² (本/m ²)	出荷可能 本数 ^{2,3} (本/m ²)	栽培終 了時株 生存率 (%)	3年 切り 適性 ⁴	
	株生存 率(%)	萌芽数 ² (本/m ²)									
スタン ダード	エケリア	97.5	699.1	83.4	32.1	1.8	248.0	230.9	95.0		
	ファンレスコ	90.9	769.0	76.2	24.1	3.2	343.0	207.4	88.6		
	レイスプリック	95.0	909.2	90.8	45.4	1.6	135.0	111.4	75.0	-	
	シルクロード	91.9	683.7	94.2	33.5	1.9	149.9	137.7	90.0	-	
スプレ	インテルメツオ	95.0	652.7	78.8	27.6	4.4	1.4	307.8	234.5	95.0	
	コンフェルト	98.9	554.8	80.9	32.7	4.6	1.4	214.8	197.6	95.5	
	デリカート	94.9	652.0	69.3	26.0	4.6	1.6	302.4	291.6	80.0	
	ルノアル	78.4	489.2	89.8	46.2	4.0	1.3	173.5	140.7	63.6	-
	ハバハラ	97.2	632.8	76.6	27.5	4.4	1.6	243.2	204.3	94.6	
	ガソジ-イロ-	94.9	654.8	72.8	29.8	4.1	1.3	239.9	194.2	84.6	
	SQS-ハ-	72.5	448.1	69.9	43.5	4.9	0.9	76.1	70.7	60.4	-
	テッソ	95.8	373.6	90.6	33.3	5.2	1.1	177.4	169.1	91.7	-
コレノ	95.7	605.8	84.8	39.0	3.8	1.2	177.0	107.0	91.5	-	

注1. 下垂度はスタンダードは花首から、スプレーは最上花から45cmの位置を固定して水平にし、曲がり程度を測定した。0~10°を1、11°~20°を2、21°~30°を3、31°以上を4とした。
 2. 面積は全てベッド面積当たり。
 3. 出荷可能本数については、切り花長40cm以上、下垂度3以下、ガク割れがなく、スプレー系は輪数4輪以上のものとした。
 4. :3年切り栽培に適していると思われる品種(m²当り出荷可能本数が220本以上)。
 :3年切り栽培は可能だが、切戻し時期等栽培方法の検討が必要と思われる品種(m²当り出荷可能本数が190本以上)。

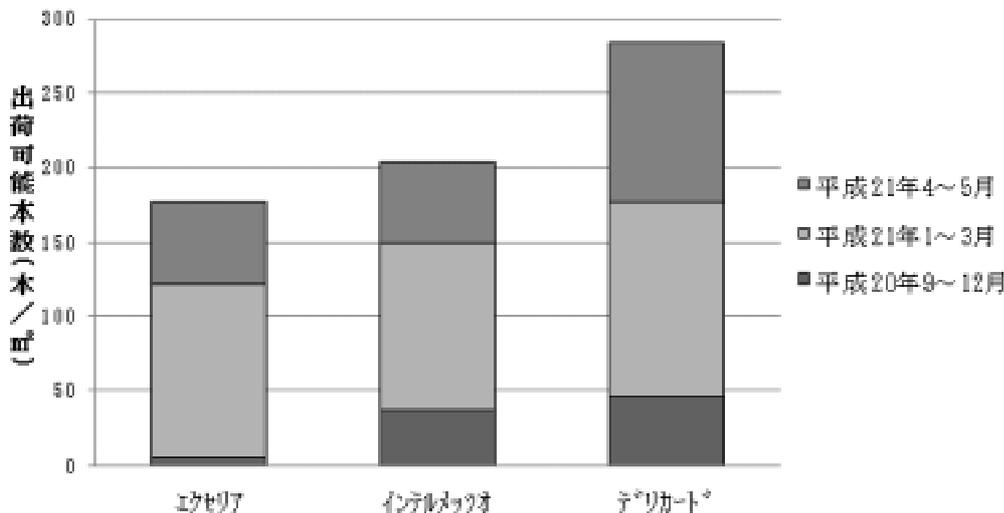


図 - 1 カーネーション多年切り栽培の4年次における出荷可能本数

表 - 2 カーネーション多年切り栽培の10a当たり経営試算(単位:円)

栽培年次	1年次	2年次	3年次	4年次
粗収益	7,950,000	7,355,228	9,180,000	7,095,938
種苗費	720,000	0	0	0
肥料費	31,401	47,102	47,102	47,102
農薬費	60,262	90,393	90,393	90,393
資材費	100,900	100,900	100,900	100,900
光熱費	495,053	495,053	495,053	495,053
小農具費	4,000	4,000	4,000	4,000
減価償却費	736,530	736,530	736,530	736,530
雇用労費	450,000	603,000	622,500	770,250
修繕費	40,000	40,000	40,000	40,000
出荷費	1,645,650	1,522,532	1,900,260	1,468,859
経営費合計	4,283,796	3,659,010	4,036,738	3,753,087
所得	3,666,204	3,715,719	5,143,262	3,342,850
1年次との差		49,515	1,477,058	-323,354

注. 1年次の粗収益、出荷費を除く数値は栃木県農業経営診断指標から引用。
 粗収益、出荷費はデリカードを基準として試算した。
 肥料費は2、3、4年次を慣行の1.5倍とし、農薬費は1.2倍とした。

